

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公開番号】特開2004-136138(P2004-136138A)

【公開日】平成16年5月13日(2004.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2004-018

【出願番号】特願2004-39067(P2004-39067)

【国際特許分類】

**A 6 3 F 7/02 (2006.01)**

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の識別情報を順番に更新表示することが可能であって前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する可変表示装置を備え、前記識別情報の更新表示の表示結果が予め定められた特定の表示態様となったことを条件に遊技者にとって有利な状態に制御となる遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記可変表示装置を表示制御し、前記識別情報の更新表示および画像による演出を行う演出表示制御手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

前記識別情報の変動時間と前記識別情報の更新表示の表示結果とをそれぞれランダムカウンタの抽出値に基づいて決定し、前記演出表示制御手段が前記可変表示装置の表示制御を行なうための表示制御コマンドとして、前記識別情報の変動時間および前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様となるか否かを示す変動時間コマンドと前記識別情報の更新表示の表示結果を示す表示結果コマンドとを前記識別情報の更新表示を開始するときに前記演出表示制御手段に送信するとともに、

前記変動時間コマンドにより前記演出表示制御手段に通知した前記識別情報の変動時間を測定するための変動時間タイマを有し、前記変動時間コマンドの送信が完了してから前記変動時間タイマをスタートさせ、該変動時間タイマがタイムアップしたときに、前記識別情報の確定時期であることを示す確定時期コマンドを、前記変動時間コマンドとは別に前記演出表示制御手段に送信し、

前記遊技制御手段と前記演出表示制御手段との間では、前記遊技制御手段から前記演出表示制御手段への一方向にのみ情報を伝送可能であり、

前記演出表示制御手段は、

前記遊技制御手段から前記表示制御コマンドの送信に同期して送信される表示制御信号を受信したときに、割込処理を行なって前記表示制御コマンドを受信し、

ランダムカウンタから特定の表示態様予告用乱数を抽出する表示態様予告用乱数抽出手段と、前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様になるときに前記識別情報の表示結果が表示される前に前記可変表示装置に表示する事前表示態様と前記表示態

様予告用乱数抽出手段による前記特定の表示態様予告用乱数の抽出値との関係を示した特定の表示態様時用のテーブルデータと、前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様にならないとき前記可変表示装置の表示態様を事前表示態様とするか否かと前記表示態様予告用乱数抽出手段による前記特定の表示態様予告用乱数の抽出値との関係を示した非特定の表示態様時用のテーブルデータとを有し、受信した前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様になることを示すものであるときに、前記識別情報の表示結果が表示される前に前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かと、前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするときに複数種類の前記事前表示態様のうちどの事前表示態様を用いるかとを独自に決定する一方、前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様にならないことを示すものであるときに、前記識別情報の表示結果が表示される前に前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かを独自に決定する表示実行決定手段と、

前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する以前の段階で、更新表示する前記順番に關係無く、差替え先の識別情報に差替えて表示する差替え表示制御を行なう差替えタイミングを前記変動時間コマンドに基づいて決定するとともに、前記差替えタイミングにおいて、前記表示結果コマンドにより示された前記識別情報の更新表示の表示結果に対応して前記差替え先の識別情報を決定する差替え先決定手段とを備え、

前記表示実行決定手段は、前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様になることを示すものであるときに、前記特定の表示態様時用のテーブルデータを用いて前記特定の表示態様予告用乱数から前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かと前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするときに用いる前記事前表示態様の種類とを決定する一方、前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様にならないことを示すものであるときに、前記非特定の表示態様時用のテーブルデータを用いて前記特定の表示態様予告用乱数から前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かを決定し、

前記演出表示制御手段は、

前記表示実行決定手段の決定に従って前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするときに、用いられる前記事前表示態様の種類が前記複数種類の事前表示態様のうち第1の事前表示態様であるときには、前記可変表示装置に複数種類の画像のうち第1の画像を表示させ、用いられる前記事前表示態様の種類が前記複数種類の事前表示態様のうち第2の事前表示態様であるときには、前記可変表示装置に前記第1の画像を表示させたのち第2の画像を表示させる画像表示制御と、

受信した前記変動時間コマンドにより示された変動時間に応じて、前記識別情報の更新表示の変動速度を構成として含む前記識別情報の更新表示の変動パターンを決定するとともに、該決定された変動パターンを用いて前記識別情報を順番に更新表示する前記可変表示装置の表示制御とを行ない、

前記確定時期コマンドを受信したときに、前記表示結果コマンドにより示される前記識別情報の更新表示の表示結果を前記可変表示装置に表示させることを特徴とする、遊技機。

## 【請求項2】

複数種類の識別情報を順番に更新表示することが可能であつて前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する可変表示装置を備え、前記識別情報の更新表示の表示結果が予め定められた特定の表示態様となつたことを条件に遊技者にとって有利な状態に制御可能となる遊技機であつて、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記可変表示装置を表示制御し、前記識別情報の更新表示および画像による演出を行う演出表示制御手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

前記識別情報の変動時間と、前記識別情報の更新表示の表示結果を前記特定の表示態

様とするか否かと、前記識別情報の更新表示の表示結果を前記特定の表示態様とし、かつ、該特定の表示態様を、前記特定の表示態様のうち前記特定の表示態様となる確率を向上させる確変表示態様とするか否かとをそれぞれランダムカウンタの抽出値に基づいて決定し、前記演出表示制御手段が前記可変表示装置の表示制御を行なうための表示制御コマンドとして、前記識別情報の変動時間および前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様となるか否かを示す変動時間コマンドと前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様となるか否かおよび前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様となるときに前記特定の表示態様が前記確変表示態様となるか否かを示す当りはいずれコマンドとを前記識別情報の更新表示を開始するときに前記演出表示制御手段に送信するとともに、

前記変動時間コマンドにより前記演出表示制御手段に通知した前記識別情報の変動時間を測定するための変動時間タイマを有し、前記変動時間コマンドの送信が完了してから前記変動時間タイマをスタートさせ、該変動時間タイマがタイムアップしたときに、前記識別情報の確定時期であることを示す確定時期コマンドを、前記変動時間コマンドとは別に前記演出表示制御手段に送信し、

前記遊技制御手段と前記演出表示制御手段との間では、前記遊技制御手段から前記演出表示制御手段への一方間にのみ情報を伝送可能であり、

前記演出表示制御手段は、

前記遊技制御手段から前記表示制御コマンドの送信に同期して送信される表示制御信号を受信したときに、割込処理を行なって前記表示制御コマンドを受信し、

ランダムカウンタから識別情報決定用乱数を抽出する識別情報決定用乱数抽出手段と、該識別情報決定用乱数抽出手段による識別情報決定用乱数の抽出値と受信した前記変動時間コマンドおよび前記当りはいずれコマンドの示す内容に基づいて前記識別情報の更新表示の表示結果を独自に決定する識別情報決定手段と、

ランダムカウンタから特定の表示態様予告用乱数を抽出する表示態様予告用乱数抽出手段と、前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様になるときに前記識別情報の表示結果が表示される前に前記可変表示装置に表示する事前表示態様と前記表示態様予告用乱数抽出手段による前記特定の表示態様予告用乱数の抽出値との関係を示した特定の表示態様時用のテーブルデータと、前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様にならないとき前記可変表示装置の表示態様を事前表示態様とするか否かと前記表示態様予告用乱数抽出手段による前記特定の表示態様予告用乱数の抽出値との関係を示した非特定の表示態様時用のテーブルデータとを有し、受信した前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様になることを示すものであるときに、前記識別情報の表示結果が表示される前に前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かと、前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするときに複数種類の前記事前表示態様のうちどの事前表示態様を用いるかとを独自に決定する一方、前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様にならないことを示すものであるときに、前記識別情報の表示結果が表示される前に前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かを独自に決定する表示実行決定手段と、

前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する以前の段階で、更新表示する前記順番に関係無く、差替え先の識別情報に差替えて表示する差替え表示制御を行なう差替えタイミングを前記変動時間コマンドに基づいて決定するとともに、前記差替えタイミングにおいて、前記識別情報決定手段で決定された前記識別情報の更新表示の表示結果に対応して前記差替え先の識別情報を決定する差替え先決定手段とを備え、

前記表示実行決定手段は、前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様になることを示すものであるときに、前記特定の表示態様時用のテーブルデータを用いて前記特定の表示態様予告用乱数から前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かと前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするときに用いる前記事前表示態様の種類とを決定する一方、前記変動時間コマンドが前記識

別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様にならないことを示すものであるときに、前記非特定の表示態様時用のテーブルデータを用いて前記特定の表示態様予告用乱数から前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かを決定し、

前記演出表示制御手段は、

前記表示実行決定手段の決定に従って前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするときに、用いられる前記事前表示態様の種類が前記複数種類の事前表示態様のうち第1の事前表示態様であるときには、前記可変表示装置に複数種類の画像のうち第1の画像を表示させ、用いられる前記事前表示態様の種類が前記複数種類の事前表示態様のうち第2の事前表示態様であるときには、前記可変表示装置に前記第1の画像を表示させたのち第2の画像を表示させる画像表示制御と、

受信した前記変動時間コマンドにより示された変動時間に応じて、前記識別情報の更新表示の変動速度を構成として含む前記識別情報の更新表示の変動パターンを決定とともに、該決定された変動パターンを用いて前記識別情報を順番に更新表示する前記可変表示装置の表示制御とを行ない、

前記確定時期コマンドを受信したときに、前記識別情報決定手段で決定された前記識別情報の更新表示の表示結果を前記可変表示装置に表示させることを特徴とする、遊技機。

#### 【請求項3】

前記演出表示制御手段は、可変表示装置に表示される前記識別情報を除く部分となる背景画像によって前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とすることを特徴とする、請求項1または2に記載の遊技機。

#### 【請求項4】

前記遊技制御手段は、前記遊技制御手段から前記演出表示制御手段への前記表示制御コマンドの出力を許容し、前記演出表示制御手段から前記遊技制御手段への信号の入力を阻止する不可逆性出力手段を備えることを特徴とする、請求項1から3のいずれかに記載の遊技機。

#### 【請求項5】

前記演出表示制御手段は、前記遊技制御手段から前記演出表示制御手段への前記表示制御コマンドの入力を許容し、前記演出表示制御手段から前記遊技制御手段への信号の出力を阻止する不可逆性入力手段を備えることを特徴とする、請求項1から4のいずれかに記載の遊技機。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1に記載の本発明は、複数種類の識別情報を順番に更新表示することが可能であつて前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する可変表示装置を備え、前記識別情報の更新表示の表示結果が予め定められた特定の表示態様となつたことを条件に遊技者にとって有利な状態に制御可能となる遊技機であつて、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記可変表示装置を表示制御し、前記識別情報の更新表示および画像による演出を行なう演出表示制御手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

前記識別情報の変動時間と前記識別情報の更新表示の表示結果とをそれぞれランダムカウンタの抽出値に基づいて決定し、前記演出表示制御手段が前記可変表示装置の表示制御を行なうための表示制御コマンドとして、前記識別情報の変動時間および前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様となるか否かを示す変動時間コマンドと前記識別情報の更新表示の表示結果を示す表示結果コマンドとを前記識別情報の更新表示を開

始するときに前記演出表示制御手段に送信するとともに、

前記変動時間コマンドにより前記演出表示制御手段に通知した前記識別情報の変動時間を測定するための変動時間タイマを有し、前記変動時間コマンドの送信が完了してから前記変動時間タイマをスタートさせ、該変動時間タイマがタイムアップしたときに、前記識別情報の確定時期であることを示す確定時期コマンドを、前記変動時間コマンドとは別に前記演出表示制御手段に送信し、

前記遊技制御手段と前記演出表示制御手段との間では、前記遊技制御手段から前記演出表示制御手段への一方に向のみ情報を伝送可能であり、

前記演出表示制御手段は、

前記遊技制御手段から前記表示制御コマンドの送信に同期して送信される表示制御信号を受信したときに、割込処理を行なって前記表示制御コマンドを受信し、

ランダムカウンタから特定の表示態様予告用乱数を抽出する表示態様予告用乱数抽出手段と、前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様になるときに前記識別情報の表示結果が表示される前に前記可変表示装置に表示する事前表示態様と前記表示態様予告用乱数抽出手段による前記特定の表示態様予告用乱数の抽出値との関係を示した特定の表示態様時用のテーブルデータと、前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様にならないとき前記可変表示装置の表示態様を事前表示態様とするか否かと前記表示態様予告用乱数抽出手段による前記特定の表示態様予告用乱数の抽出値との関係を示した非特定の表示態様時用のテーブルデータとを有し、受信した前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様になることを示すものであるときに、前記識別情報の表示結果が表示される前に前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かと、前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするときに複数種類の前記事前表示態様のうちどの事前表示態様を用いるかとを独自に決定する一方、前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様にならないことを示すものであるときに、前記識別情報の表示結果が表示される前に前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かを独自に決定する表示実行決定手段と、

前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する以前の段階で、更新表示する前記順番に關係無く、差替え先の識別情報に差替えて表示する差替え表示制御を行なう差替えタイミングを前記変動時間コマンドに基づいて決定するとともに、前記差替えタイミングにおいて、前記表示結果コマンドにより示された前記識別情報の更新表示の表示結果に対応して前記差替え先の識別情報を決定する差替え先決定手段とを備え、

前記表示実行決定手段は、前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様になることを示すものであるときに、前記特定の表示態様時用のテーブルデータを用いて前記特定の表示態様予告用乱数から前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かと前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするときに用いる前記事前表示態様の種類とを決定する一方、前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様にならないことを示すものであるときに、前記非特定の表示態様時用のテーブルデータを用いて前記特定の表示態様予告用乱数から前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かを決定し、

前記演出表示制御手段は、

前記表示実行決定手段の決定に従って前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするときに、用いられる前記事前表示態様の種類が前記複数種類の事前表示態様のうち第1の事前表示態様であるときには、前記可変表示装置に複数種類の画像のうち第1の画像を表示させ、用いられる前記事前表示態様の種類が前記複数種類の事前表示態様のうち第2の事前表示態様であるときには、前記可変表示装置に前記第1の画像を表示させたのち第2の画像を表示させる画像表示制御と、

受信した前記変動時間コマンドにより示された変動時間に応じて、前記識別情報の更新表示の変動速度を構成として含む前記識別情報の更新表示の変動パターンを決定するとともに、該決定された変動パターンを用いて前記識別情報を順番に更新表示する前記可変

表示装置の表示制御とを行ない、

前記確定時期コマンドを受信したときに、前記表示結果コマンドにより示される前記識別情報の更新表示の表示結果を前記可変表示装置に表示させることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項2に記載の本発明は、複数種類の識別情報を順番に更新表示することが可能であって前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する可変表示装置を備え、前記識別情報の更新表示の表示結果が予め定められた特定の表示態様となったことを条件に遊技者にとって有利な状態に制御可能となる遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記可変表示装置を表示制御し、前記識別情報の更新表示および画像による演出を行う演出表示制御手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

前記識別情報の変動時間と、前記識別情報の更新表示の表示結果を前記特定の表示態様とするか否かと、前記識別情報の更新表示の表示結果を前記特定の表示態様とし、かつ、該特定の表示態様を、前記特定の表示態様のうち前記特定の表示態様となる確率を向上させる確変表示態様とするか否かとをそれぞれランダムカウンタの抽出値に基づいて決定し、前記演出表示制御手段が前記可変表示装置の表示制御を行なうための表示制御コマンドとして、前記識別情報の変動時間および前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様となるか否かを示す変動時間コマンドと前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様となるか否かおよび前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様となるときに前記特定の表示態様が前記確変表示態様となるか否かを示す当りはいずれコマンドとを前記識別情報の更新表示を開始するときに前記演出表示制御手段に送信するとともに、

前記変動時間コマンドにより前記演出表示制御手段に通知した前記識別情報の変動時間を測定するための変動時間タイマを有し、前記変動時間コマンドの送信が完了してから前記変動時間タイマをスタートさせ、該変動時間タイマがタイムアップしたときに、前記識別情報の確定時期であることを示す確定時期コマンドを、前記変動時間コマンドとは別に前記演出表示制御手段に送信し、

前記遊技制御手段と前記演出表示制御手段との間では、前記遊技制御手段から前記演出表示制御手段への一方方向にのみ情報を伝送可能であり、

前記演出表示制御手段は、

前記遊技制御手段から前記表示制御コマンドの送信に同期して送信される表示制御信号を受信したときに、割込処理を行なって前記表示制御コマンドを受信し、

ランダムカウンタから識別情報決定用乱数を抽出する識別情報決定用乱数抽出手段と、該識別情報決定用乱数抽出手段による識別情報決定用乱数の抽出値と受信した前記変動時間コマンドおよび前記当りはいずれコマンドの示す内容とに基づいて前記識別情報の更新表示の表示結果を独自に決定する識別情報決定手段と、

ランダムカウンタから特定の表示態様予告用乱数を抽出する表示態様予告用乱数抽出手段と、前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様になるときに前記識別情報の表示結果が表示される前に前記可変表示装置に表示する事前表示態様と前記表示態様予告用乱数抽出手段による前記特定の表示態様予告用乱数の抽出値との関係を示した特定の表示態様時用のテーブルデータと、前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様にならないとき前記可変表示装置の表示態様を事前表示態様とするか否かと前記表示態様予告用乱数抽出手段による前記特定の表示態様予告用乱数の抽出値との関係を示した非特定の表示態様時用のテーブルデータとを有し、受信した前記変動時間コマンドが

前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様になることを示すものであるときに、前記識別情報の表示結果が表示される前に前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かと、前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするときに複数種類の前記事前表示態様のうちどの事前表示態様を用いるかとを独自に決定する一方、前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様にならないことを示すものであるときに、前記識別情報の表示結果が表示される前に前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かを独自に決定する表示実行決定手段と、

前記識別情報の更新表示の表示結果を導出表示する以前の段階で、更新表示する前記順番に関係無く、差替え先の識別情報に差替えて表示する差替え表示制御を行なう差替えタイミングを前記変動時間コマンドに基づいて決定するとともに、前記差替えタイミングにおいて、前記識別情報決定手段で決定された前記識別情報の更新表示の表示結果に対応して前記差替え先の識別情報を決定する差替え先決定手段とを備え、

前記表示実行決定手段は、前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様になることを示すものであるときに、前記特定の表示態様時用のテーブルデータを用いて前記特定の表示態様予告用乱数から前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かと前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするときに用いる前記事前表示態様の種類とを決定する一方、前記変動時間コマンドが前記識別情報の更新表示の表示結果が前記特定の表示態様にならないことを示すものであるときに、前記非特定の表示態様時用のテーブルデータを用いて前記特定の表示態様予告用乱数から前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするか否かを決定し、

前記演出表示制御手段は、

前記表示実行決定手段の決定に従って前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とするときに、用いられる前記事前表示態様の種類が前記複数種類の事前表示態様のうち第1の事前表示態様であるときには、前記可変表示装置に複数種類の画像のうち第1の画像を表示させ、用いられる前記事前表示態様の種類が前記複数種類の事前表示態様のうち第2の事前表示態様であるときには、前記可変表示装置に前記第1の画像を表示させたのち第2の画像を表示させる画像表示制御と、

受信した前記変動時間コマンドにより示された変動時間に応じて、前記識別情報の更新表示の変動速度を構成として含む前記識別情報の更新表示の変動パターンを決定するとともに、該決定された変動パターンを用いて前記識別情報を順番に更新表示する前記可変表示装置の表示制御とを行ない、

前記確定時期コマンドを受信したときに、前記識別情報決定手段で決定された前記識別情報の更新表示の表示結果を前記可変表示装置に表示させることを特徴とする。

#### 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項3に記載の本発明は、請求項1または2に記載の発明の構成に加えて、前記演出表示制御手段は、可変表示装置に表示される前記識別情報を除く部分となる背景画像によって前記可変表示装置の表示態様を前記事前表示態様とすることを特徴とする。

#### 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項4に記載の本発明は、請求項1から3のいずれかに記載の発明の構成に加えて、

前記遊技制御手段は、前記遊技制御手段から前記演出表示制御手段への前記表示制御コマンドの出力を許容し、前記演出表示制御手段から前記遊技制御手段への信号の入力を阻止する不可逆性出力手段を備えることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項5に記載の本発明は、請求項1から4のいずれかに記載の発明の構成に加えて、前記演出表示制御手段は、前記遊技制御手段から前記演出表示制御手段への前記表示制御コマンドの入力を許容し、前記演出表示制御手段から前記遊技制御手段への信号の出力を阻止する不可逆性入力手段を備えることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項1に関しては、次のような効果を得ることができる。演出表示制御手段においては、表示実行決定手段により、遊技制御手段から受信した変動時間コマンドが識別情報の更新表示の表示結果が特定の表示態様になることを示すものであるときに、識別情報の表示結果が表示される前に可変表示装置の表示態様を事前表示態様とするか否かと、可変表示装置の表示態様を事前表示態様とするときに複数種類の事前表示態様のうちどの事前表示態様を用いるかとが独自に決定される一方、変動時間コマンドが識別情報の更新表示の表示結果が特定の表示態様にならないことを示すものであるときに、識別情報の表示結果が表示される前に可変表示装置の表示態様を事前表示態様とするか否かが独自に決定される。このため、遊技制御手段側では、演出表示制御手段で行なう予告表示に関する制御を行なわなくてよいので、遊技制御手段における表示制御に関する処理負担を軽減することができる。さらに、演出表示制御手段においては、差替え先決定手段により、差替え表示における差替え先の識別情報が決定される。このため、遊技制御手段側では、演出表示制御手段で行なう差替え表示における差替え先の識別情報の決定を行なわなくてよいので、遊技制御手段における表示制御に関する処理負担をより一層軽減することができる。そして、遊技制御手段における表示制御に関する処理負担を軽減できる結果として、遊技制御手段が本来の遊技制御にかけられる時間を増やすことが可能となる遊技機を提供することができる。また、演出表示制御手段により、確定時期コマンドを受信したときに、表示結果コマンドにより示される識別情報の更新表示の表示結果が可変表示装置に表示される。したがって、可変表示装置における識別情報の更新表示の表示結果を、遊技制御手段が管理するタイミングで確実に確定させることができる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

請求項2に関しては、次のような効果を得ることができる。演出表示制御手段においては、識別情報決定手段により、抽出手段による識別情報決定用乱数の抽出値と受信した変動時間コマンドおよび当りはずれコマンドの示す内容とに基づいて識別情報の更新表示の表示結果が独自に決定される。また、表示実行決定手段により、遊技制御手段から受信した変動時間コマンドが識別情報の更新表示の表示結果が特定の表示態様になることを示す

ものであるときに、識別情報の表示結果が表示される前に可変表示装置の表示態様を事前表示態様とするか否かと、可変表示装置の表示態様を事前表示態様とするときに複数種類の事前表示態様のうちどの事前表示態様を用いるかとが独自に決定される一方、変動時間コマンドが識別情報の更新表示の表示結果が特定の表示態様にならないことを示すものであるときに、識別情報の表示結果が表示される前に可変表示装置の表示態様を事前表示態様とするか否かが独自に決定される。このため、遊技制御手段側では、演出表示制御手段で行なう予告表示に関する制御を行なわなくてよいので、遊技制御手段における表示制御に関する処理負担を軽減することができる。さらに、演出表示制御手段においては、差替え先決定手段により、差替え表示における差替え先の識別情報が決定される。このため、遊技制御手段側では、演出表示制御手段で行なう差替え表示における差替え先の識別情報の決定を行なわなくてよいので、遊技制御手段における表示制御に関する処理負担をより一層軽減することができる。そして、遊技制御手段における表示制御に関する処理負担を軽減できる結果として、可変表示装置の表示結果が予め定められた特定の表示態様となつたことを条件に遊技者にとって有利な状態に制御可能となる遊技機として、遊技制御手段が本来の遊技制御にかけられる時間を増やすことが可能となる遊技機を提供することができる。また、演出表示制御手段により、確定時期コマンドを受信したときに、識別情報決定手段で決定された識別情報の更新表示の表示結果が可変表示装置に表示される。したがって、可変表示装置における識別情報の更新表示の表示結果を、遊技制御手段が管理するタイミングで確実に確定させることができる。

#### 【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0021】

請求項3に関しては、請求項1または2に関する効果に加えて、次のような効果を得ることができる。演出表示制御手段により、可変表示装置に表示される識別情報を除く部分となる背景画像によって可変表示装置の表示態様が事前表示態様とされる。

#### 【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0027】

請求項4に関しては、請求項1から3のいずれかに関する効果に加えて、次のような効果を得ることができる。遊技制御手段は、遊技制御手段から演出表示制御手段への表示制御コマンドの出力を許容し、演出表示制御手段から遊技制御手段への信号の入力を阻止する不可逆性出力手段を備えるため、不可逆性出力手段の働きにより、遊技制御手段と演出表示制御手段との通信部分を利用し、遊技制御手段に対して不正な信号が入力されて不正な制御動作が行なわれることを遊技制御手段自体で防ぐことができる。

#### 【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0028】

請求項5に関しては、請求項1から4のいずれかに関する効果に加えて、次のような効果を得ることができる。演出表示制御手段が遊技制御手段から表示制御手段への表示制御コマンドの入力を許容し、演出表示制御手段から遊技制御手段への信号の出力を阻止する不可逆性入力手段を備えるため、不可逆性入力手段の働きにより、遊技制御手段と演出表

示制御手段との通信部分を利用し、遊技制御手段に対して不正な信号が入力されて不正な制御動作が行なわれることを演出表示制御手段側において防ぐことができる。